



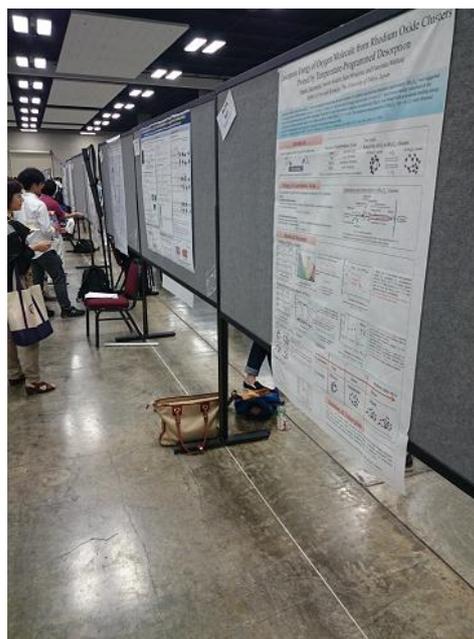
PACIFICHEM2015 参加報告

関連基礎科学系修士二年 竹之内 政人 (真船研究室)

「修士・博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を頂き、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市のハワイコンベンションセンターにて、現地時間 2015 年 12 月 16 日午後 7 時から午後 9 時までポスターセッションでの発表を行いました。この国際学会は、化学・工業化学という広い分野の最新の研究報告を聞くことが出来る素晴らしい機会でした。会場はポスターを横にはることが出来るボードが沢山配置された非常に広いホールで行われ、日本の国内学会との規模の違いを感じました。

ポスターセッションでは、”Desorption Energy of Oxygen Molecule from Rhodium Oxide Clusters Probed by Temperature-Programmed Desorption”というタイトルで発表を行いました。この発表は、ロジウムと酸素の反応性について調べたもので、触媒としてロジウムが NO, CO とどのように反応するかを調べるための基礎となる研究です。発表中には複数人の方に研究内容を聞いて頂き、今後の研究方針についての討論や、よりよい説明の仕方についての助言を頂くことが出来ました。とくに、同分野の方々と、クラスター科学の発展や他の分野への応用について話し合い、修士論文を書く上での参考にすることが出来ました。

自分の発表以外の口頭発表やポスター発表にも参加しました。幅広い分野の研究発表が行われていたため、普段あまり馴染みのない分野の研究についても学習することが出来ました。特に錯体の分野では、私の研究と同じクラスターや触媒を扱っているにもかかわらず、合成方法や解析法が全く異なることを学習することが出来ました。また、英語での討論は自身の英語能力やネイティブスピーカーとのコミュニケーションの方法について改めて考える機会になりました。



ポスター発表の様子